



Q 市バスの運賃が改定されるって聞いたけど、どう変わるの？

A 市バスの抜本的な経営改善の取組みの1つとして、**令和8年10月に市バスの運賃を改定する予定です。**
運賃種別ごとの改定案は、次のように考えています。



主な運賃種別ごとの運賃改定案



普通旅客運賃	運賃種別	現行	改定案	改定額
	初乗り運賃	160円	190円	+30円
	大人片道 ※現在の運賃が440円以上の場合、一律70円の改定	170円～230円	200円～260円	+30円
		240円～290円	280円～330円	+40円
		300円～360円	350円～410円	+50円
		370円～430円	430円～490円	+60円
		440円～	510円～	+70円

	運賃種別	現行	改定案	改定額
特別旅客運賃	都心バス120円均一(120円パツ区)	120円	150円	+30円
	東西線結節駅周辺バス100円均一	100円	130円	+30円
一日旅客運賃	120円パツ区一日乗車券	300円	380円	+80円
	市内区域一日乗車券	650円	750円	+100円
	近郊区域一日乗車券	1,000円	1,150円	+150円
団体旅客運賃	普通団体 学生団体	普通旅客運賃より 10%～20%割引	普通旅客運賃より 10%～20%割引	+30～70円
るーぶる仙台	1回乗車	260円	300円	+40円
	るーぶる仙台一日乗車券	630円	700円	+70円
	るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券	920円	1,000円	+80円

	定期種別	改定内容
定期運賃	通勤定期	・普通旅客運賃値上げ分を反映 ・10キロまでの割引率を3割引から2.5割引に改定 ・長距離利用の負担軽減のため、10.1～15キロの区間の3.5割引、15.1キロ以上の区間の5割引は据え置く
	区間通学定期	・普通旅客運賃値上げ分を反映
	学都仙台市バスフリーパス	・据え置き(5,970円/月)
	都心バス共通定期	・特別旅客運賃値上げ分を反映(4,870円⇒6,090円/月)

※現時点での予定です。正式には国の認可後にお知らせします。

仙台市バスは、平成7年3月に運賃を改定して以来、消費税率改定のを除いて、全体的な運賃を変えずに運行してきました。



約30年も運賃を改定していなかったんだね！どうしてこのタイミングで改定しようと決めたの？

昭和55年度をピークに長期的な乗車人員の減少傾向の中、交通局では、利用促進の取組みも進めながら人件費の削減を中心とした経営効率化を進めるなど、市民の皆さまへの影響を最小限に留めるため、全体的な運賃は変えずに据え置いてきました。

しかし、コロナ禍や物価高騰の影響で、44路線全てで営業係数が100を上回り赤字になるなど、とても厳しい経営状況となっています。

今までの取組みだけでは、市バスの経営を改善するのが難しい状況です。



久しぶりの運賃改定ということで、抵抗を感じる人もいるのでは…？

今回の運賃改定案では、お客さまのご負担を抑えられるように、次のように工夫しています。



- 長い距離を乗車する方の負担を軽減するため、普通運賃の値上げ幅に上限を設ける
- 都心均一運賃及び東西線結節駅周辺均一運賃の割引を継続
- 学都仙台市バスフリーパスの価格を据え置く
- 通勤定期の距離割引率の一部を改定せずに据え置く



今回の運賃改定でこれからの市バス事業は大丈夫になるの？

公営交通事業者として、これからも市バスを守り、将来の世代までつないでいくため、引き続き経営改善に取り組んでいきます。

中長期的・抜本的な経営改善策として、運賃改定だけではなく、バス路線のあり方や運賃体系の見直し、保有資産活用などに取り組みつ、仙台市からの補助金等による財政支援を受けながら持続可能な経営を目指していきます。
皆さまのご理解・ご協力をお願いします。



私たちも出かけるときは、市バスを使わないとね！

【交通局ホームページ】

市バス運賃改定について

https://www.kotsu.city.sendai.jp/kigyou/keiei/bus_unchin_kaitei.html

